

組合員企業紹介

株式会社 大風印刷

(山形県印刷工業組合所属)

株式会社大風印刷は、昭和22年2月創業、地域密着型の営業を一貫して行っている印刷会社です。山形市内に本社を、県内外に5つの営業所を置き、「ありがとうが愛ことば」のキャッチフレーズのもと、印刷事業を中心に様々な事業を展開しています。当社では、ワクチン接種履歴を管理できる「ワクチン手帳」の販売を開始しました。アイデア商品の発売までの経緯や今後の展望について、代表取締役の大風亨氏（山形県印刷工業組合理事長）、取締役の奥山朋子氏に取材をさせて頂きました。

企業概要

本社所在地	山形県山形市蔵王松ヶ丘一丁目2番地6	創業	昭和22年2月
TEL/FAX	TEL 023-689-1111 FAX 023-689-1212	従業員数	119名(令和3年7月1日現在)
主な事業	一般印刷全般、カラー印刷、製本、 定期刊行物、書籍、パンフレット、その他	代表者	代表取締役 大風 亨

業界の現状と貴社の取組みについて教えてください。

新型コロナウイルス感染症の流行によりイベント等がなくなったことで経営環境は悪化し、特に価格競争が激化しています。業界の現状は大変厳しいですが、印刷の目的は「人と人をつなぎ、人を幸せにすること」です。これまで当社は紙の印刷物を主に取り扱ってきましたが、これからは紙の印刷に軸を置きながらも、「人と人をつなぎ、人を幸せにすること」は何でもやっていこうという姿勢で、様々な取組みを行っています。

ワクチン手帳開発のきっかけは？

令和3年3月、同居家族の新型コロナウイルスワクチンの接種状況を一括管理ができる手帳として、子育て中の社員から「母子手帳を参考にしたらどうか」との提案があり、ファミリーワクチン手帳を制作して販売しました。その後、年齢順にワクチン接種が進む中、同居高齢家族の新型コロナウイルスワクチンの接種済証の保管方法に悩んだ社員がいて、家族一緒ではなく一人ひとりがおくり手帳と共に保管できるほうがよいとの観点から、個人版のワクチン手帳に改良、令和3年5月12日に発売を開始しました。この改良により、新型コロナウイルスワクチンの接種済証がそのまま貼付でき、副反応やインフルエンザなど他のワクチン接種の履歴についても記載できるようになりました。より実用的になったことで大きな反響がありました。抗菌素材を使用したワクチン手帳カバーも販売しています。



発売後の反応は？

当社のSNSを活用して発表したところ、情報はたちまち広まり、地元のテレビ局2社と新聞社1社から取材の依頼が入りました。その後、東北地方のニュースとしても放送されて東北地方を中心に大きな反響がありました。現在は、当社のECサイト「よってけろYAMAGATA」で販売をしており、全国各地のお客様から購入いただいています。値段が一冊165円で、送料は一冊84円と切手分しかかからないのもポイントだと思います。